

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	54	事業名	高齢者優待事業	担当部課	福祉部長寿課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市高齢者文化施設優待事業実施要綱、あつたかあど交付要綱、長久手市高齢者外出促進事業実施要綱	3-1-2 老人福祉費	
	事業開始の背景、経緯等	市内の施設や公共交通機関の利用を優待補助し、高齢者の外出を促すことで社会的視野を広めるとともに生きがいを得られるよう事業を開始した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者に対し、福祉の家や市内の文化施設、公共交通機関の利用について全額又は一部を助成する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満65歳以上の市民
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者の外出機会を増やし、社会参加を促すことで健康寿命の延伸や地域内交流を活性化させる。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	9,070	9,975	10,799	9,105	9,400
		決算	8,382	8,824	9,164	9,803	
人件費(B)	千円	決算	2,452	2,611	1,340	2,059	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	10,834	11,435	10,504	11,862	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		8,763	9,055	9,349	9,580	9,804
対象あたりコスト(C/D)	千円		1	1	1	1	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
福祉浴・歩行浴室優待利用者数	人	目標	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
		実績	4,658	4,536	4,139	3,448	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
高齢者が元気に活動する機会の目安として、あつたかあど保有者が外出し健康増進と交流の活動をした指標として設定			近年の利用者の増減傾向より設定				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 目標を下回っているが、高齢者等の外出の機会創出に寄与できていると考えられる。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) あつたかあど協賛店舗の拡大が必要である。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 事業利用者に偏りが見られる。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	高齢者文化施設優待事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込 実績						
	(3) 利用者数	人	見込 実績	1,100 1,022	1,100	1,100	1,100	1,100	
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 名都美術館入館者数: 883人(1人あたり600円補助) トヨタ博物館入館者数: 139人(1人あたり4~12月400円・1~3月500円補助)							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	あつたかあど事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込 実績						
	(3) あつたかあど入泉者	人	見込 実績	70,000 67,295	70,000	70,000	70,000	70,000	
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> あつたかあど発行枚数 赤カード: 1,085人 青カード: 1,047人 ござらっせ入泉者数 赤カード: 35,670人 青カード: 31,625人							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	事務事業③	高齢者外出促進事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込 実績						
	(3) マナカチャージ券配布数	枚	見込 実績	6,000 5,722	5,000	5,000	5,000	5,000	
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> マナカチャージ券チャージ数: 5,331枚(発行枚数に対し約93%)							今後の方向性	改善・見直し

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 外出のための経済的な支援だけでなく、外出するための機会や目的の創出を行う。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 今後の急速な高齢化に伴い、現行制度では近い将来に財源不足となることが予測されるため、補助事業の見直し及び統廃合を進め、自ら外出したくなる仕組みづくりや輸送手段の導入にシフトチェンジする。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・行政改革の重要課題事業に基づき、見直しを進めてください。 ・「中長期の目標」が具体化するよう、検討を進めてください。 ・N-パス運賃の動向、マイナンバーカードの普及などを踏まえ、あつたかあどの今後について検討してください。
内部意見への回答		